

## 式 辞

鴨川を吹き渡る風、御所に咲き誇る梅の香に春の到来を感じる、今日の佳き日に、京都府立鴨沂高等学校第72回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜りましたことは、卒業生はもとより、本校の生徒及び教職員一同にとりまして、この上ない慶びとするところであります。高段からではございますが、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

ただいま、230名の生徒の皆さんに、高等学校の全ての課程を修了した証として、栄えある卒業証書を授与いたしました。皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様におかれましては、たくましく成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと拝察いたします。今日に至るまでの並々ならぬ御労苦に敬意を表しますとともに、改めてお祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。

今年、元号が「令和」に改まって初めての卒業式。それは同時に、78年に及ぶ輝かしい歴史と伝統を誇る定時制を閉じ、全日制単独となった本校にとって、新しい時代の幕開けを象徴する式典となりました。また、皆さんは、高校3年間の前半を仮校舎で、後半を新校舎で過ごすという、大きな環境の変化に戸惑いもあったと思いますが、このような本校の歴史の大きな転換期に、皆さんを社会に送り出すことには感慨深いものがあります。

皆さんは、規律ある生活を送り、学力を伸ばし、部活動や学校行事・地域活動にも積極的に取り組み、生活の乱れや問題行動・中途退学がほとんどない、安心安全で落ち着いた雰囲気醸成し、多方面にわたって目覚ましい成果を上げました。勉強や部活動、自らの生き方や友人関係に悩むなど、幾多の困難があったでしょうが、様々な試練を乗り越え、本校147年に及ぶ歴史の中で、確かな足跡を刻んでくれました。

本校は、近代日本の草創期にあって、当時のグローバル化への対応と女子教育の充実を目指す、「新英学校及び女紅場」という名の我が国最初の公立女学校として、明治5年に誕生しました。昭和10年前後に行われた校舎建設においては、モダニズムデザインを基調とした和洋折衷の格調高い校舎など、当時としては他に類を見ない優れた教育施設でした。そして、この度完成した新校舎も、旧校舎の古き良きものを保存・継承するとともに、最先端の施設・設備を融合させた、全国にも誇れるものであります。このように、校舎建設という大きな歴史の節目を見ましても、本校の教育は、常に不易なるものを大切にしながら、時代の最先端を進むという精神で貫かれており、本校に対する府民の期待の大きさを強く感じざるを得ません。皆さんにとっては短い新校舎での生活でしたが、これだけの素晴らしい教育環境の中で暮らすことができ、少しは満足してもらえたのではないかと思います。

これから皆さんが歩む未来は、人生百年時代と言われ、ソサイアティ5.0社会の到来だ

とか、SDGs だとか、様々に未来を予言する目新しい言葉が飛び交い、身に付けた知識がすぐに陳腐化してしまうような、変化の激しい社会です。

OECD 経済協力開発機構は、国際的な認識として、複雑で不確かなこれからの世界を生きる若者に求められる力を「エージェンシー」と表現していますが、これは「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲」だと説明しています。そして、その姿勢・意欲を身に付けるためには、新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力が必要だとも言っています。社会変革を実現するということは、極めて難しいことだと思いますが、未来社会はそれを求めているのです。例えば、皆さんが卒業した後、4月に迎え入れる新入生たちは、高校在学中に18歳で成人となります。こうしたことも、これからの若者に求められる象徴的な事柄だと思います。

もう一つ大切なことは、心の在りようです。度重なる震災の時や今年のラグビーワールドカップで日本国民がとった行動は、世界から賞賛されました。これは、時代が変わってもいつまでも大切にしなければならない、我が国の歴史・伝統に根ざした誇るべき精神性の現れだと、私は思います。

本校の教育方針は、「世界平和を希求し、すべての人々が幸福になりうる社会をめざして、事実に基づいて真理を追究し、それに従って実践しようと努力する人間をつくる。」と定められています。これは、昭和23年の高校創設以来、継承してきた不変の方針であり、まさに不易なる鴨沂の精神というべきものです。

私は、皆さんが入学して以来、正しく生きる力、何事にも果敢にチャレンジする強い心、自信と誇り、世のため人のために力を尽くす覚悟を持ってほしいと語り続けてきました。また、周囲に流されることなく、何が本当で何が正しいのかを自ら判断し、行動してほしいとも言ってきました。私は、こうした言葉を通して、皆さんに鴨沂の精神を伝えてきました。

本校を巣立つ皆さんには、鴨沂の精神を受け継ぎ、行く手に立ちほだかる様々な課題や試練を乗り越えて、心豊かにたくましく生き抜いてほしいと願います。そして、世のため人のために力を尽くせる人間になってください。皆さんの未来に幸多かれと祈ります。

結びに、本日御臨席を賜りました御来賓の皆様、並びに保護者の皆様には重ねて感謝を申し上げます。本校に対しまして、今後なお一層の御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、式辞といたします。

令和2年2月28日

京都府立鴨沂高等学校

校長 藤井 直

